

第2号 発行日 平成14年春

曹洞宗 天祐山公田院仁叟寺

山雲水月

発行責任者 仁叟寺住職 渡辺啓司

平成14年

仁叟寺 年間予定表

- 1/1 年頭祈禱
- 1/3~4 年始挨拶
- 2/3 節分会
- 2/15 涅槃会
- 3/18~24 春彼岸
- 3月上旬 大般若会
- 3月中旬 筆供養
- 4/8 花祭り
- 7/12~16 県外檀家棚経
- 8月上旬 子供禪の集い
- 8/13~16 お盆
- 9/20~26 秋彼岸
- 12/8 成道会
- 12/31 除夜祭

目次:

- 諸行事報告 1
- 坐禅会 2
- 俊司送行 2
- 寺史編纂室通信 3
- 花祭り 3
- 寄付者一覧 4
- 編集後記 4

諸行事報告

～役員さんはじめ ボランティアの皆様、
どうもありがとうございました～



じょやえ
「除夜会」

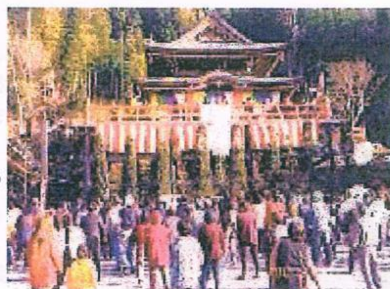
おおみそか
毎年大晦日深夜より元旦未明にかけての一大イベント

今年は十三重石宝塔前の舞
こきゅう
台で、胡弓・尺八・琴・ギターのミニ・コンサートも開催。好評を博しました。

だいせつぶんえ
「大節分会」

まめま
毎年2月3日に行われる豆撒き

あいにく
今年は生憎の小雨でしたが沢山の
れいけん
方々が訪れてくださいました。靈験あ
ちゅうごくさんせいしやうごだいさんしやうらい
らたかな中国山西省五台山請来
もんじゆぼさつ えんにち
文殊菩薩の縁日でもあり、地域に定着した行事となりました。



だいほんにやえ だいせじきえ
「大般若会」・「大施食会」

毎年3月の第2日曜日に修行
江戸時代より脈々と伝わる当寺の
伝統行事。大般若経の風に当たる
むびやうそくさい
とその年は無病息災になると伝えられています。



ていきざぜんかい

定期坐禅会の開催



坐禅会の様子

以前から随時申し込みを受けて開かれていた各種坐禅会ですが、この度、副住職の龍道が中心となり、定期的な坐禅会を立ち上げることにしました。

「最近若い人を中心に坐禅に興味を持つ方が増えております。また、仕事をしている方にも来ていただけるよう、夜に行きたいと考えています。」と副住職。開

始は4月から毎週水曜日の午後7時から約1時間を予定。第1回目は、4月3日(水)午後7時から当寺坐禅堂において行われる予定です。

英語で「ZEN」という言葉は、知らない人がいないほど、海外において定着しております。自国の伝統文化を知るためにも、また禅を組み己を見つめてみるためにも、是非この定期坐禅会に参加して禅を体験してみたいかがで

そうあん

弟子俊司 總持寺送行

去る3月3日に弟子の次男・俊司の僧堂乞暇式が大本山總持寺で行われました。僧堂乞暇式は送行とも言い、僧堂での厳しい修行のいわば卒業式といった儀式です。同じ釜の飯を食べた

友人僧やお世話になった役寮さん(指導役の僧侶)らが見送る中、新しい生活へと各自旅立って行きます。

俊司は長男・龍道同様2年間の修行を無事、勤め上げました。駒澤大学仏教学部禅学科を休学しての、本山での修行生活でしたので、4月からは同大学へ復学をし、再度勉学の道へと進むことになります。

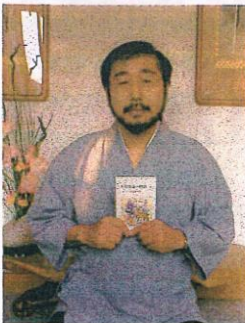
「これからは、總持寺で得た経験を活かして、学生生活を爽りあるものにしたい」と、これからの新生活に向けての抱負を語っていました。



修行中の布教弁論大会での一コマ(題「理想と現実」で優秀賞を授賞)

しょうご

渡辺章悟氏、東洋大学教授に就任



自ら『大智度論の物語』を手にする章悟教授

住職の弟の渡辺章悟氏(高崎市江木町在住、49歳)が、今年度より東洋大学文学部の教授に就任。専門は、初期の大乗仏教の研究で、現在同大学文学部インドてつがくか 哲学部と印度哲学科で教鞭を執っています。

章悟教授は渡辺隆司東堂の次男として1953年に仁叟寺で誕生。以来、多胡小学校、多胡中学校を経て高崎高校に通う間、仁叟寺で育ちました。その後、法政大学、東洋大学大学院、インド・デリー

大学などを経て、1994年に東洋大学助教授に就任。

現在は、仏教伝道協会の研究員としても活動をし、仏典の翻訳を行っており、また著書・論文なども多数発表しております。

また、『仁叟寺史』編纂委員として、「仏教の起源とその展開(仮称)」の章を担当しています。今後の氏の更なる活躍を祈念しております。

山雲水月

ていきざぜんかい

定期坐禅会の開催



坐禅会の様子

以前から随時申し込みを受けて開かれていた各種坐禅会ですが、この度、副住職の龍道が中心となり、定期的な坐禅会を立ち上げることになりました。

「最近若い人を中心に坐禅に興味を持つ方が増えております。また、仕事をしている方にも来ていただけるよう、夜に行いたいと考えています。」と副住職。開

始は4月から毎週水曜日の午後7時から約1時間を予定。第1回目は、4月3日(水)午後7時から当寺坐禅堂において行われる予定です。

英語で「ZEN」という言葉は、知らない人がいないほど、海外において定着しております。自国の伝統文化を知るためにも、また禅を組み己を見つめてみるためにも、是非この定期坐禅会に参加して禅を体験してみたいかでしょうか？

そうあん

弟子俊司 總持寺送行

去る3月3日に弟子の次男・俊司の僧堂乞暇式が大本山總持寺で行われ

俊司は長男・龍道同様2年間の修行を無事、勤め上げました。駒澤大学仏教学部禅



第2号

じしへんさんしつ

寺史編纂室通信



第5回寺史編纂会議
(3月5日・於、仁叟
寺寺史編纂室)

『仁叟寺史』の編纂室が立ち上がり、現在15名の「仁叟寺史編纂委員」により、活動中でございます。昨年8月末に行われた早稲田大学・吉井町・当寺の合同調査以来、月1回ほどの会議を重ね、同編纂室の設立となりました。委員の皆様も後世に残る寺史を作ろうと尽力されております。

また、編纂室からのお願いがございます。もし、貴家に寺関係の古い写真や資料などがございましたら、是非同編纂室までご一報

ください。寺のみならず、地域の歴史の貴重な資料となる可能性もございます。

ご協力くださっている同編纂委員の方は以下の通りです。

『仁叟寺史』編纂委員(順不同、敬称略)

渡辺啓司(編纂委員長)、渡辺隆司(顧問)、外園豊基(監修)、向井周治(編纂委員)、金子明(同)、井上正俊(同)、小林譲(同)、矢島卓(同)、久保信太郎(同)、長谷川寛見(同)、渡辺章悟(同)、井上隆(同写真班)、落合喜久男(同)、神保佳玄(同)、渡辺龍道(同事務)

年忌法要のご通知

既にご存知の方も多いかと思われ また、総代会・役員会において



平成13年度 寄付者一覧

さるすべり 百日紅の木(4株)・龍の髭 神保 柿田和良殿	きんらんざにく 金襴座褥 川崎 太田信子殿	ぎよく 魚鼓 高 白井和志殿
たちけんだい 立見台 吉井 濱形みや殿	水仙球根(300個) 吉井 宮川敏雄殿	ろ 紫紹寺紋入袈裟 白石 堀越三男殿
ざにくはいしき 小型座褥拝敷セット 塩 向井孝也殿	植木3株(マキ・モッコク・ツバキ) 高崎 新井徳司殿	たかほりだいちようちん 山門高張大提灯及び台1対 仁叟寺入口大看板 吉井 川上哲殿
ろひ 紹緋法衣 神保 金澤隆殿	よねざわつむぎ 米澤紬寺紋入法衣及び袈裟 吉井 酒井範明殿	かさ 木製傘立て 吉井 佐藤正平殿
けやききよくろく 樺曲桌 高 神宮昌利殿	びやくだんせいによい 白檀製如意 東京 樋口豊夫殿	たかはりちようちん 高張提灯1対 塩 向井周治殿
油絵(60号) 神保 神保和男殿	きっこうから 亀甲柄寺紋袈裟 平成13年度新盆家一同殿	あずまや 東屋休憩所1棟 多胡 新井イ子殿
しょうろうどう 小鐘楼堂 東京 小林昭二殿	みかげいし 御影石小僧像(2体) 上田 吉祥殿	
全 高崎 小林眞三郎殿	る 茶紹紋入袈裟 長根 木村守二殿	全 吉井 矢島巖殿
きんらんはいしき 金襴拝敷 神保 金澤正明殿	全 高 神宮茂男殿	全 高崎 町田洋二殿 全 高崎 重永浩行殿 全 南陽台 関運平殿

行雲流水 (編集後記)

編集人 副住職 渡辺龍道

厳しかった冬もようやく終わり、梅の香とスギの花粉が春を告げに参りました。私事で恐縮ですが、スギの花粉には毎年悩まされております。薬を服用したり、こまめに洗顔をしたりと対策は練っているのですが、何か良い方法があればご教授ください。

さて、「仁叟寺報一山雲水月」第2号、いかがだったでしょうか？何か記事にしたい事などありましたら是非、副住職までご一報ください。

当寺では1月の除夜会、2月の節分会、3月の大般若会と主要大行事が目白押しでした。滞りなく円滑に無事圓成したのも、檀家役員さんの協力のお陰であると改めて感じさせられました。

また、3月18日(月)から24日(日)まで、春の「お彼岸」です。このお彼岸、元々は「日願」と書き、昼と夜との時間が同じになるこの頃に、作物の豊作を太陽に祈願したのが起源だと言われております。ちなみに、秋彼岸も同様で、こちらは収穫に感謝の祈願を行ったそうです。平安期に仏教行事と結びつき、また先祖信仰も加わり、日本独自の伝統行事「お彼岸」が形成され、今日に伝わっております。この季節、是非、菩提寺や各家の墓所に参拝をし、ご先祖様に感謝をし、手を合わせましょう。

